

大嘗会辰日 奏寿詞之図



発行者兼編集者
 鵜戸神宮
 社務所
 印刷所
 西日本印刷



暑中御見舞
 申し上げます

今年、は昭和天皇の涼闇も
 明け、いよいよ十一月には
 即位の礼、そして大嘗祭が
 執り行われます。神社界に

とつても新帝の御代を奉祝、慶賀すべくそれぞれの
 神社に於て記念の催事が計画されている様ですが、
 当宮としても記念事業として楼門の改修・神宮駐車
 場車庫廻り整備、三ツ和荘前便所の建替、記念植樹、
 新駐車場の整備を行う事にしました。

氏子・崇敬者の方々には益々御健勝の御事と心よ
 りお慶び申し上げますが、共に平成の御代が弥遠永
 に平穏である様祈念してごあいさついたします。

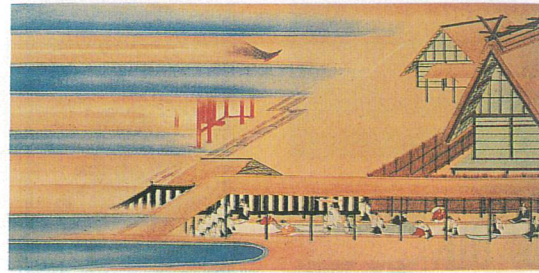
ごあいさつ

宮司 佐師朝規

御大典の年を迎えて

権祐宣 中武信明

今年一月八日に昭和天皇の諒闇が明け、政府及び宮内庁は御大典すなわち即位の礼、大嘗祭、大饗を始めとする、皇位継承に伴う諸儀式に向け本格的な準備に入り、「即位の礼」を十一月十二日に皇居宮殿にて、「大嘗祭」を十一月二十二、二十三日皇居東御苑にて



大嘗会渡御悠紀殿之図

執り行なわれることを発表致しました。諸儀式の中で、一世一度の重儀とされているのが大嘗祭であり、この重要性については前号に掲載致しましたので、今回は政教分離の規定について多少述べたいと思います。何故なら、この大嘗祭を

国が行うことは、憲法に定める政教分離に触れるのではないかと議論が一部にあるからであります。確かに憲法二十三条三項には「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。」とあります。しかし二項には「何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない。」とあり、信教の自由を保障し、「国及びその機関」の関与を禁止していません。禁じてゐるのは「国及びそ

の機関」の「宗教的活動」であります。では、宗教的活動とは何でありましょうか。わが国では、昭和五十二年に言い渡された三重県津市の地鎮祭訴訟最高裁判決で、「当該行為の目的が宗教的意義をもち、その効果が宗教に対する援助、助長、促進又は圧迫、干渉になるような行為」と判断の基準をしめています。

つまり、「国及びその機関」の行為により、特定の宗教が援助、助長されたり、あるいは逆に特定の宗教が圧迫、干渉されたりして、国民の信教の自由が侵害されるようなことが起こらなければ「国及びその機関」が、宗教とかかわり合うことが許されるということであり、これが今日、定着している司法の判断であり、このことから、大嘗祭を考えれば憲法第二条には皇位は世襲のものであると定められており、大嘗祭は皇位とともに伝わる伝統的儀式であります。その中に宗教的儀式をとまなうものがあつたとしても、それがただちに特定の宗教を支



大嘗会豊明節会久米舞之図

持、助長したり、国民の信教の自由を侵害するようなことはないので、憲法第二十条三項には違反しないということになります。

では、占領下における政教分離規定はどうだったのでしょうか。占領軍総司令部(GHQ)内部における現憲法草案の起草記録には、第二十条は「信教の自由を正面から保障し、かつ教会(特定の宗教団体)と国家の分離を規定するものとなつた」とあり、神道指令(昭和二十年十二月十五日発布)の目的とされた「国家と宗教の分離」は謳われて

いません。

確かに、神道指令の第二項の冒頭には「本指令ノ目的ハ宗教ヲ国家ヨリ分離スルニアル」とあり、国家と宗教の完全分離が打ち出されていますが、これは政教分離国である米国や西欧諸国で、一般的に行なわれている政教分離(国家と宗教の分離ではなく国家と教会の分離すなわち、国家儀式がキリスト教的色彩を帯びることは禁止されないが、国家と特定の宗教団体との結びつきは許されない)とは際立って異なる非常に厳しい政策であるといわなければなりません。

例えば、アメリカでは大統領の就任式において宣誓を行なっているし、連邦および州議会、裁判所、軍隊、警察、刑務所、公立病院などには専属牧師が置かれています。また、フランスでは国の祝祭日も大半はカトリックの祭日であり、従軍牧師もカトリックに限られています。このように、その国の歴史や伝統、文化によって違いはありますが、国家と宗

教の完全分離は行なわれていません。

ところが、この政策は日本の伝統や宗教的風土をまったく無視したもの(例えば、公立学校の生徒は修学旅行にいくとも、神社や仏閣を見学することができなくなつた)であつた為、GHQに懇願や陳情が続々持ち込まれ、GHQもゆきすぎた政策を修正し、指令の適用条件を大幅に緩和しています。また、宗教法人法の制定に中心的な役割を果たしたウッダートも、昭和二十六年には「指令の第二項の冒頭の文章は、現在は教会(特定の宗教団体)と国家の分離を意味するものとして解釈されつつある」と指摘し、国家と宗教の分離を否定しています。

指令の適用緩和で特に注目しなければならぬのは、昭和二十六年五月十七日に崩御された貞明皇后の御葬儀であります。既に皇室喪儀令は失効しており、現皇室典範にも「天皇が崩じたときは、大喪の礼を行う」とあるだけで、皇太后に關する規定はありません。しかし、皇太后の地位が天皇

と特別に縁故の深い関係にあることを考慮して、事実上の準国葬で行なわれ、必要な費用は全て国費でまかなわれたということになります。このように神道指令が依然として効力を有していた時期に宗教的儀式を伴う公葬まで、大幅に緩和されたのです。このことは現憲法(昭和二十一年十一月三日公布、翌年五月三日施行)の政教分離規定が、この程度まで柔軟な運用を許容してきたということに他なりません。

以上のことから、今から約千三百年前に成立したといわれる大嘗祭は、長い歴史と伝統をもつ貴重な即位の儀礼であり、ならん政教分離に触れないということがお分りいただけたと存じます。むすびに、平成の御大典が皇室の伝統に基づき盛大厳粛に執り行われ、特に大嘗祭は国家国民あげての御奉仕ができるよう、皆様方の御協力をお願い申し上げます。

例祭齋行と奉祝行事

二月一日、この日は生憎の曇り空ではあつたが、当神宮例大祭が厳粛かつ盛大に斎行された。昨年は、昭和天皇の御大喪期間中であつた為、献幣使の参向と奉祝行事が中止となり、もの静かな一日であつたが、今年には献幣使黒岩龍彦氏(県神社庁々長)を迎へ、責任役員、氏子、崇敬者総代をはじめ、四神宮(英彦山、霧島、鹿兒島、宮崎)宮司、県内外神社、官公庁関係、日南市、北郷町、南郷町各地区々長、敬神婦人会、全

国各地の崇敬者の多数の参列を賜つた。

式典には、前年までは舞楽「蘭綾王」が神宮の職員によつて奉納されていたが、昨年の八月に京都より藤原健先生をお招きして、舞楽「納曾利」の講習を行い、今回初めて奉納する事に至つた。

儀式殿前広場では、奉祝行事として第十八回鶴戸神宮奉納四半的弓道大会が開催され、県内から六十チーム、二九三名が参加し、四半的大会ならではの和やか



舞楽「納曾利」

- ▽(個人)
- ▽一般男子①金丸有男(服部)②大野二見(田野)
- ▽高齡①高千穂②日南A③末吉
- ▽(団体)
- ▽一般①田野B②服部道場③日向浜
- ▽高齡①高千穂②日南A③末吉
- ▽一般男子①安井秀義(田野A)②野辺新男(串間)
- ③鍋倉利男(田野A)④古本勝男(高千穂)⑤内田安好(三財)
- ▽一般女子①野崎ハツ子(田野)②竹山アヤ子(服部)③馬場セツミ(中郷)
- ④浜田ツヤ⑤藤田ナミエ

「授与品雑感」

権祢宜 伊東健治

鵜戸神宮は、景勝の観光地に御鎮座する事も幸いして四時参拝者が絶えませんが、本殿が岩屋の中に在る所為か、自然と参拝順路が決まって居る様で眺めていると鳥居を潜り先ず本殿にて賽銭を投げお参りし、岩屋を一廻りする授与所で御守やおみくじを受け、最後に広大な太平洋を見晴し乍ら



運玉を投げられます。それぞれの行為に日本人に培われて来た宗教的特異性が現われている様に思います。賽銭を投げてお参りする事は、稲穂を献上していた名残で敬神の念と申しますか、感謝の気持ちの現れだと思えます。次に運玉と云うのは、当神宮の名物のひとつで霊石亀石の枳形の岩穴に願いを込めて運玉を投げ、旨く入れば願いの事が叶うと云い伝えられる神事です。この運玉とおみくじは、結果が早く見ると云う現世利益を期待する性急さを感じます。では御守は、どうなのでしょう。慣習の意味合では、身に付けるとかお祀りすると安心すると考えられ、大事な時は特にその様で、受験とか妊娠されると「気になって仕様がな」と言われ慌て

て御守を受けられる方を見受けられます。御守は、神社と社会生活を結ぶものの中で唯一見えるものなのです。この神様の御分霊を普段身に付けておられると云う敬神の基本的観念は変わっていないとしても、形態に就いては近年流行廃りがある様です。昔は御札か御守ひとつ有れば事足りた筈が一般社会の価値観の移り変わりに伴い願事も多種多様に細分化され、願いの事一つひとつに合わせなければ参拝者の意向に答えられない時代に成りつつ有り、これが益々進むのか、これに歯止めをかけるのかと云う問題も考えざるをえません。御守の多種多様化は、当宮を例に取れば観光参拝が多い為、それが顕著に判ります。若年層に関しては、一般商品と同様に色や形が授与を決める要因を占めています。例として修学旅行生の参拝を挙げてみますと縁結ぶ御守や学業御守を多く受けられます。その御守の幾種類

か揃えている中で、「この色って私に合ってる」とか、「このくらい大ききってカワイイ」からの理由で受けられる事は詰まり今風の感覚に合わなければ受け入れない感じが見られます。これは是非は各立場角度に因り種々有る事と考えますが、現実問題として、従来の授与品の形では参拝者の傾向と云うか意向を無視する事と成り、頒布に支障を来します。それに合わせて行こうとすれば、昔の儘の固定観念だけで見ると授与品が商品化している様に考える方も在らっしゃる筈です。しかし通常思い浮かぶ固定観念の御守も、それ程昔から在った訳ではないのです。こういう話を耳にした事があります。或る雑誌で正月用の撮影をした時、人気のあるキャラクターを織り込んだ御守を子供に持たせた所、撮影後も大事そうに御守を離さなかつたそうです。この様な御守が、デパート等に出るのは問題ですが、七五三詣や神社が運営する幼稚園で頒布する事は、飽

て御守を受けられる方を見受けられます。御守は、神社と社会生活を結ぶものの中で唯一見えるものなのです。この神様の御分霊を普段身に付けておられると云う敬神の基本的観念は変わっていないとしても、形態に就いては近年流行廃りがある様です。昔は御札か御守ひとつ有れば事足りた筈が一般社会の価値観の移り変わりに伴い願事も多種多様に細分化され、願いの事一つひとつに合わせなければ参拝者の意向に答えられない時代に成りつつ有り、これが益々進むのか、これに歯止めをかけるのかと云う問題も考えざるをえません。御守の多種多様化は、当宮を例に取れば観光参拝が多い為、それが顕著に判ります。若年層に関しては、一般商品と同様に色や形が授与を決める要因を占めています。例として修学旅行生の参拝を挙げてみますと縁結ぶ御守や学業御守を多く受けられます。その御守の幾種類

鵜戸山玄深記(Ⅲ)

和の時代の中で幼児に御守に対する親しみを持たせると共に、御守の持つ意味を判り易く説明する事で、神徳宣揚の教化活動に繋がるのではないのでしょうか。伝統を継承する事は、神職の務めで有りますが、守る可きものは守り、社会変化に対応していかなければ取り残され只の遺物と成ってしまいます。だから、そのあたりの認識を持っていけば冒険しても良いのではと考えます。最後に御守の授与は物品販売と違います。何故なら毎朝御神符遷霊祭を齋行致しているからであります。この祭典をご存じの方は少ない筈ですが、これを行なう事により参拝の皆様が御守に神威を感じられるのです。それは神社側の御守に対する敬神の念の現われではないでしょうか。初詣時に多く見られます様に、古い御守はお返し頂き、新しい御守を受けられる。この様な素晴らしい慣習を残す事も神職の本懐ではないのでしょうか。

和の時代の中で幼児に御守に対する親しみを持たせると共に、御守の持つ意味を判り易く説明する事で、神徳宣揚の教化活動に繋がるのではないのでしょうか。伝統を継承する事は、神職の務めで有りますが、守る可きものは守り、社会変化に対応していかなければ取り残され只の遺物と成ってしまいます。だから、そのあたりの認識を持っていけば冒険しても良いのではと考えます。最後に御守の授与は物品販売と違います。何故なら毎朝御神符遷霊祭を齋行致しているからであります。この祭典をご存じの方は少ない筈ですが、これを行なう事により参拝の皆様が御守に神威を感じられるのです。それは神社側の御守に対する敬神の念の現われではないでしょうか。初詣時に多く見られます様に、古い御守はお返し頂き、新しい御守を受けられる。この様な素晴らしい慣習を残す事も神職の本懐ではないのでしょうか。

又要ヲ取テ^①ニ^②之^③功徳ヲ示サハ阿字ハ胎藏大日之種子真言ニテ佛法之本源ナレハ八萬之聖教モ一切之佛菩薩モ皆悉ク此一字ニ授盡セリ故ニ釈迦彌陀等之諸佛ハ皆此字之理リヲ悟テ正覺ヲ成シ玉ヒ一切之衆生モ亦皆此字之功徳ニ依テ成佛スト云事兩部之大經ニ説ク取ナリ

次ニ鍔字ハ金剛大日之種子ニテ又是阿彌陀如来之真言也其功徳無邊ナル事阿字ニ准シテ心得ヘシ如此廣大不思議之功得ヲ具セル真言ナレハ假令自ラ唱フル事ナシト云氏或ハ其字之形ヲ見或ハ他之唱フルヲ聽クカ如キ僅ニモ結縁スル人ハ順逆ヲ撰バス必ス浄土人天之果ヲ得ヘシ大日經ニハ一見阿字五逆消滅ト説カ故ニ必ス疑ヒヲ生スル事勿レ



鵜戸山形之圖 亦高野山大塔金堂之地ハ自然ト阿字姿也ト云云

- ① ㄱ — あ
- ② ㄴ — ばん
- ③ 功徳 — 道徳的・宗教的なすぐれた特質。いわゆる徳の事
- ④ 胎藏大日 — 胎藏界の大日如来
- ⑤ 種子 — 密教で仏・菩薩または種々の事項を標示する梵字
- ⑥ 真言 — 真実の語。秘密の言葉
- ⑦ 佛法 — 仏教
- ⑧ 聖教 — 釈尊所説の教え。またその他の聖者の教え。仏教の経文
- ⑨ 彌陀 — 阿彌陀如来のこと
- ⑩ 正覺 — 正しい悟り。真理を体得した仏の悟り
- ⑪ 衆生 — 人間

⑫ 兩部之大経 — 胎藏界の大日経と金剛界の金剛頂

⑬ 金剛大日 — 金剛界の大日如来

⑭ 無邊 — かぎりのないこと

⑮ 結縁 — 仏道に入る縁を結ぶ事。未来において救われる縁を結ぶこと。

⑯ 順縁 — 順縁・逆縁の事

⑰ 浄土 — 悟りの境地に入った仏菩薩の住む清浄な国土

⑱ 人天 — 人間界と天上界

⑲ 大日経 — 密教の教理(教相)と実践の方法(事相)について述べる

⑳ 五逆 — 五種の罪悪。君・父・母・祖父・祖母を殺すこと。

㉑ 往古 — おおむかし

㉒ 七寶莊嚴 — 七宝を用いて飾ること。

七宝とは金・銀・瑠璃・玻璃・砗磲・珊瑚・瑪瑙。または金・銀・瑠璃・珊瑚・琥珀・砗磲・瑪瑙

㉓ 浄刹 — 浄土に同じ。寺院の境内

㉔ 瑠璃 — 青色の宝石

第四回シャンシャン馬道中唄

全国大会開催

全国的に愛唱されているシャンシャン馬道中唄の第四回全国大会が、去る三月二十四日、二十五日の二日間にわたり開催された。

二十四日は日南文化センターで予選が行われ、県内はもとより九州各県、静岡愛知県などから合わせて三百七十五名が参加、少年、



熱戦を繰り広げる決勝大会

青年、壮年、実年、高年の五部門に分れ競いあい、二十五日は、会場を当神宮儀式殿に移し、決勝戦が行われ、出場者は、「鵜戸さん参りは春三月よ……」と、三味線や尺八、太鼓などのリズムカルな音に合わせ熱唱し、日ごろ鍛えた自慢のノドを披露した。会場には、民謡愛好家や一般参拝者で埋まり、歌の終わるたびに大きな拍手が送られていた。

▽少年の部
①田端香里(日南) ②柏田和美(日向) ③鎌田泉(日南)

▽青年の部

④横山泰男(静岡) ⑤本石よし子(えびの) ⑥松下セツ子(延岡)

①徳山秀子(高鍋) ②倉尾由美子(南郷) ③牟田寿子(佐土原)

▽壮年の部

③仁田脇ウメ(宮崎) ④黒木エミ子(日向)

①後藤久美(熊本) ②木下信子(串間) ③黒木久代(門川) ④河内正二(日向) ⑤日高美智子(日南) ⑥太田原アサエ(宮崎)

▽実年の部

▽少年の部 国武けい子(熊本) ▽青年の部 真田

「シャンシャン馬道中」私達は、この聞き慣れない言葉を新聞紙面にて知り、それに参加する新婚夫婦を

シャンシャン馬道中に参加して

大塚 義 幸

募集するという記事を読みました。内容についてはよくわかりませんでした。九州宮崎には行ったことが



鵜戸詣りをされる大塚義幸御夫妻

なく、少し不謹慎かとは思いましたが無料で行け、なおかついろいろなイベントに参加できるので、喜んで行くことにしました。宮崎の地に足を踏み入れまず最初に、花がたくさん咲いていて、私達の住んでいる岐阜ではまだ見ることができない花があり、到着時にフェニックスがあって南国ムードいっぱい非常にきれいな街だと感じました。

らの眺めは最高で私達の目を楽ませてくれました。鵜戸神宮に着きそこで、手甲・脚絆にわらじばきという旅姿へと着替えお互い見慣れない恰好に大笑いしました。いよいよたくさんの人が見ている前で馬に乗り、私は手綱を引きましたが意外に力があるし、妻の方は何度もバランスを崩しそうになり、この先少し不安になりました。その後日南市長からお言葉をいただき、「がんばって」と励まして頂き、大変うれしく思いま



除 幕 式

た。鵜戸神宮は日向灘に面した洞窟の中にあり、美しく神秘的な雰囲気がありました。私達はそこでお参りをし、何と二度目の結婚式を厳粛に挙げる事ができ、よい思い出となりました。鵜戸神宮、青島、フラワーフェスタ会場、どこへ行っても地元宮崎の方に気軽に話しかけて頂き、いっしょに写真を撮ったり、励ましてもらったりして、親切であたたかい気持ちに非常に印象よく心に残りました。一つ残念だったのは、三会場とも景色をよく見ていないことです。近いうちにもう一度宮崎を訪れ、じっくりと見学し、あたたかい人の心に触れて見たいと思います。

駐車場

記念碑

除幕式

このたび大駐車場(平成元年三月二十六日竣工)の入口に縦三メートル、横九十センチの記念碑が、矢野産業株式会社、会長矢野久義氏、社長矢野久也氏の奉納により建立された。

除幕式が行われた一月二十五日は、絶好の日本晴れではあったが、風が吹き荒れ、寒さの厳しい一日であった。式は午前十一時より、当神宮三輪祢宜齋主のもと、会長他二名、当神宮宮司が参列し、厳粛に斎行された。

新職員紹介

出仕 神崎 直則



▽生年月日 昭和四十三年三月三十日
▽最終学歴 国学院大学文学部二部 神道学科
▽趣味 音楽鑑賞
▽常の信条 根性

出仕 本城 泰興



▽生年月日 昭和四十四年六月三十日
▽最終学歴 神宮研修所
▽趣味 音楽鑑賞
▽常の信条 尊皇

鶺鴒観光駐車場

公衆トイレ完成

日南市が改築工事を進めていた鶺鴒観光駐車場の公衆トイレの竣工落成式が、一月十九日午前十一時より川越日南市長をはじめ、県観光振興課長、当神宮宮司、他多数の参列者のもと斎行された。

これまでのトイレは、昭和四十年に建てられており、老朽化がひどく参拝者の不評をかっていた。この為、公衆トイレのイメージを一

新させようと計画され、総事業費二千五百万円、うち一千万円は県観光基盤支援事業補助金が充当され建設されたものである。

建物面積は百平方メートルで、外壁は珞肥杉を使用し、屋根はコロンアル葺で千木と勝男木を置いた神明造りで、社殿風となっている。

トイレ内に入るとセンサーが作動し、神宮にちなんで「シャンシャン馬道中唄、即ち鶺鴒さん詣りは春三月よ云々」のメロディーが流れる仕組になっていて、参拝者にも好評のようである。



いさみ太鼓奉納

早朝からの雨も上がった五月五日のこどもの日、午前十時より地元の子供たち四十五名が、恒例の「いさみ太鼓」を本殿横において

奉納した。岩窟には、揃いの鉢巻、法被姿の子供たちが元気にたたく軽快な太鼓の音が響きわたり、参拝者の視線を集めていた。また本殿では、三体の子供獅子が勇壮な舞を奉納した。

このいさみ太鼓は、鶺鴒の大神様と祖先の恩とに感謝すると共に、子供たちの健やかな成長を祈念して毎年行われている。

福岡藩伝

柳生新影流

兵法奉納

当神宮は足利時代、剣法の達人と謳われた相馬四郎義元、愛洲移香が靈窟に参籠し御神示を受け、剣法の奥儀を悟り、前者は「念流」後者は「陰流」を創始した。

念流からは中条流、富田流、一刀流などが生まれ、陰流からは神陰流、心貫流、新陰流などが生まれた。このことから剣法発祥の地として称えられている。五月四日には、陰流の流れをくむ福岡藩伝、柳生新

影流第十三代宗家、蒲池鎮浪氏によって兵法が奉納された。鎮浪氏の話によると、陰流を創始した愛洲移香は弟子の上泉伊勢守秀綱に陰流を直伝し、秀綱は神陰流を伝授した。秀綱は弟子の柳生宗厳に神陰流を伝授し、宗厳は新陰流を伝授した。その宗厳は弟子の大野松右衛門家信に柳生という姓を分けあたえ、家信は萩藩、黒田藩とつかえ柳生新影流を広めそれが今日まで受け継がれてきている。鎮浪氏は上泉伊勢守秀綱から数えて第十三代目に当るということである。



蒲池氏による兵法

編集後記

○本号発行に際し、大塚義幸様には御多忙中にも拘りませず玉稿を賜り誠に有難うございました。紙面をもちまして厚くお礼申し上げます。

○神宮に雄の番犬を飼っています。名前はシロ。男性がシロの目を見詰めてもシッポを振るか気のない顔をするだけですが、巫子さんが見詰めると恥ずかしそうな顔になり目をそらしてしまします。やっぱり男だなと笑いがこみ上げてきた先日でした。

○縁結びのお守りは、ただ単に男女の中を結ぶという事だけではなく、いろんな人との縁を結ぶというお守りでもあると思います。皆様はいかがお考えでしょうか。(中武)

